

■レディスプレリュード（JpnⅡ）アラカルト（過去 21 回の分析）

※第 1 回（平成 16 年）から第 7 回（平成 22 年）までは「TCK ディスタフ」の名称で実施

※第 13 回（平成 28 年）は 2 頭が 2 着同着

※記録は令和 7 年 9 月 23 日時点

■ 1～2 番人気馬は堅実だが 3 番人気馬はやや不振

単勝 1 番人気馬は 9 勝、2 着 6 回、3 着 2 回で、3 着内率が 81.0%、単勝 2 番人気馬は 7 勝、2 着 4 回、3 着 2 回で、3 着内率が 61.9%、単勝 3 番人気馬は 2 勝、2 着 3 回、3 着 2 回で、3 着内率が 33.3%となっている。単勝 1～2 番人気馬に比べると、単勝 3 番人気馬は好走率が低い。

■ 半数超の回が 1～3 番人気馬のワンツーフィニッシュ

過去 21 回のうち 18 回は、単勝 3 番人気以内の馬が勝利を収めている。なお、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツーフィニッシュ決着は 11 回、単勝 3 番人気以内の馬によるワンツースリーフィニッシュ決着は 3 回ある。

■ パフィオペディラムとミラクルレジェンドが“連覇”を達成

レディスプレリュードにおいて複数回の優勝経験があるのは、第 4 回（平成 19 年）と第 5 回（平成 20 年）を制したパフィオペディラム、第 8 回（平成 23 年）と第 9 回（平成 24 年）を制したミラクルレジェンドの 2 頭である。なお、いずれも 2 回連続の優勝だ。

■ 優勝馬の 8 割超が 4～5 歳馬

馬齢別の勝利数を見ると、3 歳が 2 勝、4 歳が 7 勝、5 歳が 10 勝、6 歳が 1 勝、7 歳が 1 勝となっている。4～5 歳勢が中心と言えるだろう。

■外国産馬は 1 勝

外国産馬の優勝例は、第 7 回（平成 22 年）のザッハーメインによる 1 回だけである。

■指定交流競走となつてからは JRA 所属馬が圧倒的に優勢

指定交流競走となつた第 8 回（平成 23 年）以降の計 14 回に限ると、地方所属馬は 0 勝、2 着 2 回、3 着 2 回、JRA 所属馬は 14 勝、2 着 13 回、3 着 11 回となっている。3 着以内馬延べ 42 頭のうち、9 割超にあたる 38 頭が JRA 所属馬だ。

■騎手別の歴代最多勝記録は「3」

騎手別の勝利数を見ると、岩田康誠騎手が 3 勝で単独トップ。川田将雅騎手、左海誠二騎手が 2 勝で 2 位タイとなっている。

■調教師別の歴代最多勝記録は「2」

調教師別の勝利数を見ると、岡林光浩調教師、角居勝彦調教師、橋口慎介調教師、藤原英昭調教師、山浦武調教師が 2 勝でトップタイとなっている。

■優勝例のない枠番は 4 枠だけ

枠番別の勝利数を見ると、3 枠（6 勝）が単独トップ。7 枠（4 勝）が単独 2 位、6 枠と 8 枠（各 3 勝）が 3 位タイとなっている。なお、未勝利の枠番は 4 枠のみである。また、馬番別の勝利数を見ると、3 番と 5 番（各 3 勝）がトップタイ。8 番、9 番、12 番、15 番（各 2 勝）が 3 位タイとなっている。ちなみに、未勝利の馬番は 11 番、14 番、16 番だ。

<伊吹雅也>